西田地方保育園園長 細川 優子

保育園行事について ~子どもを真ん中に~

先週、Cクラス(年少組)の「あおぞらフェスティバル」を開催し、保護者の方々に参加いただき、Cクラスの子ども達は、お家の方と一緒にイキイキと活動していました。

日頃遊んでいる園庭で、砂や泥に触れたりわくわくタワーや築山に登ったりしながら、遊び方や砂場道具の場所を知らせたり、「こんなとこも登れるんだよ」とお父さんを越してタワーに登ったりする姿に、私たちも日頃みられないお子さんのたくましさと誇らしげな表情をみることができました。

参加いただいた保護者の方にとっては、保育園で子ども達がどのように環境に関わり、友だちと遊んでおられるかを知っていただく機会にもなりました。参加後のご感想・ご意見も多数いただきありがとうございました。

当日の様子(Facebookより)

西田地方保育園の教育・保育目標は、子ども主体の教育・保育です。いわゆる"子どもまんなか社会"が保育園生活でも同様なものがあります。保育園では、子ども達の自発的な遊びを通しての教育・保育を実践し、子ども自身が受け身ではなく、自分を表出しながら自己発揮ができる環境構成と保育者の関わりを心がけています。また、保護者の方ともコミュニケーションを取りながら日々の成長を共有し、一緒に喜んだり、時には共に悩んだりしながらお子さんの育ちを支え見守りたいと思っています。

その一旦に行事があると捉えていただきたく、今回は3歳以上児の教育・保育指導計画をお示して、一年の活動の見通しについて改めてお知らせいたします。

西田地方保育園の教育・保育の中に大きな柱となる活動の4大行事

あおぞらフェスティバル

わっしょい!にしでんまつり

FUN FUN フィールド

左園卒

これらに向けて、一年間どのように子ども達の活動をすすめていくかを計画したものが、下記に示す表になります。年齢ごとに発達過程を見据えて、活動への取り組み方が違いますので、あわせて御覧ください。

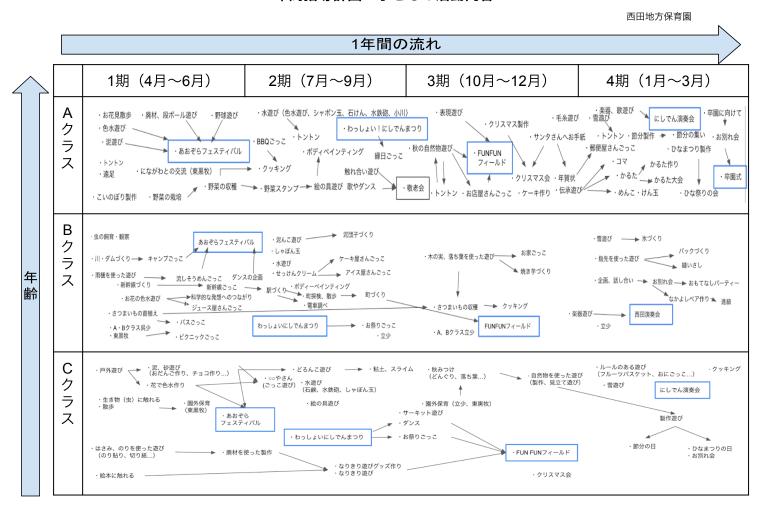
日々の生活と遊びを中断させず、子ども自身が目標をもって遊びをすすめられる指導計画に なっています。

先にあげた4大行事は保護者の方にも子ども達のする活動を共有していただける内容としています。保護者の方々自身が経験されてきた"運動会""発表会"というイメージのものではないことに物足りなさを感じられるという意見もいただきましたが、幼児期は遊びを通して学び、表現する力や達成感、自己肯定感等を培い蓄え、これから身に付ける能力の根っこを育てる時期です。やってみたいことを実現させるために考えたり試したりできる環境のもと、いろいろな経験を重ねていくことで、今後もっと大きな社会に出ていく子ども達に必要とされる力が養われるはずです。保育園の時こそ、保護者の方と共に活動し、お子さん自身と保護者の方々、そして保育園のトライアングルになってお子さんの成長を共有する日常に、本園がめざす行事があると思っています。

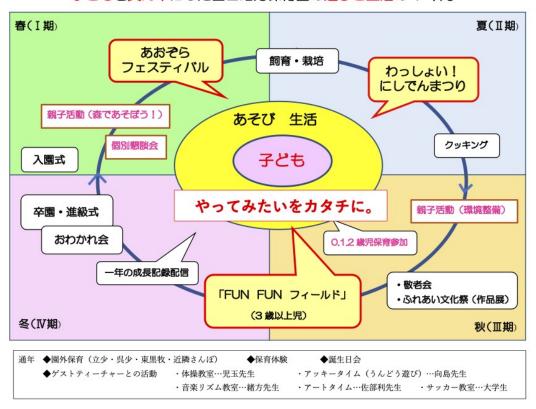
来週6月20日(火)は、Bクラス(年中組)の「あおぞらフェスティバル」です。 5月の連休明けからキャンプごっこが盛り上がっている中、子ども達だけではできないことを 保護者の方のお力をかりて、更に楽しく魅力的なキャンプごっこの活動になるよう計画中です。 子ども達がいろいろな環境に 関わる様子や友だちとの 関わりなどから成長を感じていただけ るものと思います。

今週配信する以上児クラスのドキュメンテーションでは、当日を迎えるまでの活動の様子に加え、その気持ちや話し合いの様子をお伝えする予定です。

年間指導計画 子どもの活動内容



子どもを真ん中にした西田地方保育園の遊びと生活の 1 年間



0.1.2歳児クラスの保護者の皆様にも、西田地方保育園の方針についてご理解いただき、お子さんのこれからの成長を楽しみに一日一日を過ごしていただきたいと思っています。 今後とも保護者の皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。